



《将来に向けた取組方針》

シチズングループは2015年に「シチズングループ生物多様性行動指針」を定めました。「シチズングループは、事業活動が生態系サービスの恩恵を受け、また、生態系に影響を与えていることを認識し人と自然が調和し心豊かに安心して暮らせる持続可能な市民社会に貢献するため、グループ一体となって生物多様性の保全活動に取り組みます」という基本方針下に、5つの重点施策を定め各工場を取り巻く自然環境を保全する活動を行っています。

蝶の保護活動

シチズンファインデバイス北御牧事業所では、2003年から絶滅危惧Ⅰ類に指定されているオオルリシジミの保護活動を「守る会」の一員として行っています。食草の「クララ」を構内に植え、害虫駆除を行って「親子観察会」にも協賛しています。



オオルリシジミを写真撮影

2019年の観察会には、県外からの参加もあり、100人を超えて行いました。

国内各社の生物多様性保全活動



これからも、シチズングループは中期・長期の計画に基づき国内外で生物多様性保全の活動を継続します。